〔ピリダリル水和剤〕

# プレオ® フロアブル

農林水産省登録　第２１３３３号
性　　状：類白色水和性粘稠懸濁液体
毒　　性：普通物
危 険 物：—
有効年限：５年
包　　装：100 mℓ×60 本、500 mℓ×20 本、５ ℓ ×２本

有効成分：ピリダリル …… 10.0%

殺虫剤分類　UN

農薬ガイドの適用表内（＊）および各項目については、i-農力サイトの「製品情報」や「農薬ガイドを見る」から、「農薬ガイドの見方」をご参照ください。
本剤の最新情報：こちらの２次元バーコードを読み取ると i-農力サイトに掲載されている本剤の最新情報がご覧になれます。

## 〔適用と使用法〕

| 作物名 | 適用害虫名 | 希釈倍数 | 10アール当り使用液量 | 使用時期* | 総使用回数* |
|---|---|---|---|---|---|
| キャベツ | コナガ<br>アオムシ<br>ヨトウムシ<br>ハスモンヨトウ<br>オオタバコガ<br>ハイマダラノメイガ<br>ウワバ類<br>シロイチモジヨトウ<br>ネギアザミウマ | 1000 倍 | 100～300 ℓ | ７日前 | ２回 |
| | コナガ<br>アオムシ<br>ヨトウムシ<br>ハスモンヨトウ | 16 倍（※） | 1.6 ℓ | | |
| | | 32 倍（※） | 3.2 ℓ | | |
| はくさい | コナガ<br>アオムシ<br>ヨトウムシ<br>オオタバコガ | 1000 倍 | 100～300 ℓ | | |
| 非結球あぶらな科葉菜類（こまつな、みずな、なばな類を除く） | コナガ<br>ハスモンヨトウ | | | | |
| こまつな<br>みずな | | | | 前日 | |
| だいこん | コナガ<br>カブラハバチ<br>アオムシ<br>ヨトウムシ | | | 14 日前 | |
| レタス | アザミウマ類<br>シロイチモジヨトウ | | | ７日前 | |
| 非結球レタス | ナモグリバエ<br>ハスモンヨトウ<br>オオタバコガ | | | | |
| なす | ハスモンヨトウ<br>オオタバコガ<br>アザミウマ類<br>ハモグリバエ類 | | | 前日 | ４回 |
| トマト<br>ミニトマト | ハスモンヨトウ<br>オオタバコガ<br>ハモグリバエ類<br>シロイチモジヨトウ<br>トマトキバガ | | | | ２回 |
| ピーマン | アザミウマ類<br>タバコガ類 | | | | |
| とうがらし類 | | | | | |

色掛けは2024年4月24日適用拡大

| 作物名 | 適用害虫名 | 希釈倍数 | 10アール当り使用液量 | 使用時期* | 総使用回数* |
|---|---|---|---|---|---|
| にんじん | ハスモンヨトウ | 1000倍 | 100～300ℓ | 前日 | 2回 |
| ねぎ | シロイチモジヨトウ<br>ネギアザミウマ | | | 3日前 | 4回 |
| たまねぎ | シロイチモジヨトウ<br>ネギアザミウマ<br>ハスモンヨトウ | | | | 2回 |
| かぶ | ハスモンヨトウ | | | | |
| アスパラガス | ハスモンヨトウ<br>ヨトウムシ<br>オオタバコガ<br>ネギアザミウマ | | 100～500ℓ | 前日 | |
| きゅうり<br>メロン | ハモグリバエ類<br>アザミウマ類<br>ウリノメイガ | | 100～300ℓ | | |
| いちご | ハスモンヨトウ<br>オオタバコガ<br>アザミウマ類 | | | | 4回 |
| カリフラワー | コナガ<br>ハスモンヨトウ<br>ヨトウムシ | | | 3日前 | 2回 |
| 茎ブロッコリー | ハスモンヨトウ | | | | |
| ブロッコリー | コナガ<br>ハスモンヨトウ<br>シロイチモジヨトウ | | | 7日前 | |
| | コナガ<br>ハスモンヨトウ | 16倍（※） | 1.6ℓ | | |
| | | 32倍（※） | 3.2ℓ | | |
| ごぼう | ハスモンヨトウ | 1000倍 | 100～300ℓ | | |
| 豆類（種実、ただし、だいず、らっかせいを除く） | ハスモンヨトウ<br>シロイチモジヨトウ | 1000～2000倍 | | | |
| | オオタバコガ<br>ハモグリバエ類 | 1000倍 | | | |
| だいず | ハスモンヨトウ | 8～16倍(※) | 800㎖ | | |
| | ハスモンヨトウ<br>シロイチモジヨトウ<br>マメシンクイガ | 1000～2000倍 | 100～300ℓ | | |
| 豆類（未成熟、ただし、さやいんげんを除く） | ハスモンヨトウ<br>シロイチモジヨトウ | | | 前日 | |
| | ハモグリバエ類<br>オオタバコガ | 1000倍 | | | |
| さやいんげん | ハスモンヨトウ<br>シロイチモジヨトウ | 1000～2000倍 | | | |
| | ハモグリバエ類<br>オオタバコガ<br>ヨトウムシ | 1000倍 | | | |
| オクラ | ハスモンヨトウ<br>オオタバコガ | | | | |
| 未成熟とうもろこし | オオタバコガ<br>ツマジロクサヨトウ | | | | |

**色掛けは2024年4月24日適用拡大**

| 作物名 | 適用害虫名 | 希釈倍数 | 10アール当り使用液量 | 使用時期* | 総使用回数* |
|---|---|---|---|---|---|
| ばれいしょ | オオタバコガ | 1000倍 | 100～300ℓ | 7日前 | 2回 |
| | ハスモンヨトウ | 1000～2000倍 | | | |
| | | 16倍（※） | 0.8～1.6ℓ | | |
| | | 32倍（※） | 1.6～3.2ℓ | | |
| さといも | スズメガ類<br>ハスモンヨトウ | 1000～2000倍 | 100～300ℓ | | |
| かんしょ | ハスモンヨトウ<br>ナカジロシタバ<br>ヒルガオハモグリガ | | | | |
| | | 16倍（※） | 0.8～1.6ℓ | | |
| | | 32倍（※） | 1.6～3.2ℓ | | |
| 花き類・観葉植物 | オオタバコガ<br>ハスモンヨトウ | 1000倍 | 100～300ℓ | 発生初期 | 4回 |
| きく（葉） | オオタバコガ | | | 14日前 | 2回 |
| さんしょう（葉） | アゲハ類 | | | 21日前 | |
| しょくようほおずき | アザミウマ類 | | | 3日前 | |
| 食用ミニバラ | ハスモンヨトウ | | | 前日 | |
| 食用ぎく | オオタバコガ | | | 7日前 | |
| みしまさいこ | ハスモンヨトウ | | | | |
| しそ<br>しそ（花穂）<br>バジル | | | | | |
| タラゴン | | | | | |
| しゅんぎく | | | | 前日 | |
| にがうり | ハスモンヨトウ<br>ウリノメイガ | | | | |
| しょうが | ハスモンヨトウ | | | | |
| みょうが（花穂） | | | | | |
| みょうが（茎葉） | | | | | |
| すいぜんじな | | 2000倍 | | | |
| そば | | 1000倍 | | | |
| | ヨトウムシ | 1000～2000倍 | | | |
| セルリー | ハスモンヨトウ<br>ハモグリバエ類 | 1000倍 | | | |
| せり科葉菜類（セルリーを除く） | ハスモンヨトウ | | | 3日前<br>但し、みつばの伏せ込み栽培は伏せ込み前まで | |
| すいか | ハスモンヨトウ<br>オオタバコガ<br>アザミウマ類<br>ウリノメイガ | | | 前日 | |
| とうがん | ミナミキイロアザミウマ | | | | |

**色掛けは2024年4月24日適用拡大**
**（かんしょはヒルガオハモグリガの害虫追加、ハスモンヨトウの無人航空機散布追加、無人航空機散布の使用液量変更）**

| 作物名 | 適用害虫名 | 希釈倍数 | 10アール当り使用液量 | 使用時期* | 総使用回数* |
|---|---|---|---|---|---|
| ほうれんそう | ハスモンヨトウ<br>ハモグリバエ類<br>シロイチモジヨトウ | 1000倍 | 100～300ℓ | 前日 | 2回 |
| にら | ネギアザミウマ | | | | |
| なばな類 | コナガ<br>ハスモンヨトウ | | | 14日前 | |

表中の※は無人航空機による散布
使用方法：散布

**色掛けは2024年4月24日適用拡大**

## ⚠効果・薬害等の注意

●使用前によく振る。
●散布量は対象作物の生育段階、栽培形態及び散布方法に合わせ調節する。
●本剤を無人航空機による散布に使用する場合は次の注意を守る。
　○散布は各散布機種の散布基準に従って実施する。
　○無人航空機による散布にあっては散布機種に適合した散布装置を使用する。
　○散布中、薬液の漏れのないように機体の散布配管その他散布装置の十分な点検を行う。
　○特定の農薬（混用可能が確認されているもの）を除いて原則として他の農薬との混用は行わない。
　○散布終了後は次の事項を守る。
　　・使用後の空の容器は放置せず、適切に処理する。
　　・使用残りの薬液は必ず安全な場所に責任者をきめて保管する。
　　・機体散布装置は十分洗浄し、薬液タンクの洗浄廃液は安全な場所に処理する。
●非結球レタスには品種によっては薬害を生じるおそれがあるのであらかじめ薬害のないことを確かめたうえで使用する。
●せり、みずかけな（水掛菜）、カラー及び花はすに使用する場合は、ほ場内に水がない状態で使用する。また、使用後14日間は入水しない。
●本剤の使用に当たっては、使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意し、特に初めて使用する場合には、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましい。
●適用作物群に属する作物又はその新品種に本剤を初めて使用する場合は、使用者の責任において事前に薬害の有無を十分確認してから使用する。なお、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましい。

## ⚠安全使用上の注意

●蚕に対して影響があるので、周辺の桑葉にはかからないように注意する。
●本剤は皮ふに対して刺激性があるので皮ふに付着しないよう注意する。
　付着した場合には直ちに石けんでよく洗い落とす。
●散布の際は農薬用マスク、手袋、長ズボン・長袖の作業衣などを着用する。作業後は直ちに手足、顔などを石けんでよく洗い、うがいをするとともに衣服を交換する。
●作業時に着用していた衣服等は他のものとは分けて洗濯する。
●かぶれやすい体質の人は取扱いに十分注意する。
●水産動植物（甲殻類）に影響を及ぼすおそれがあるので、河川、養殖池等に飛散、流入しないよう注意して使用する。
●無人航空機による散布で使用する場合は、飛散しないよう特に注意する。
●使用残りの薬液が生じないように調製を行い、使いきる。散布器具及び容器の洗浄水は、河川等に流さない。また、空容器、空袋等は水産動植物に影響を与えないよう適切に処理する。

●直射日光をさけ、なるべく低温で乾燥した場所に密栓して保管する。

〔品目特性〕

●優れた殺虫活性　チョウ目及びアザミウマ目に高い活性があります。

●優れた耐雨性と残効性があります。

●天敵・有用昆虫に対する影響が少ないです。
総合的病害虫管理（ＩＰＭ）に適合します。ハナカメムシ類等の天敵を利用した防除体系への取り組みができます。